



みなさま

快晴の秋日和、中国経済産業局長表彰

小松電機産業株式会社の「クラウド型リアルタイム表示（特許 第 6 5 2 7 6 6 0 号）が、令和 2 年度中国地方発明表彰の「中国経済産業局長賞」を受賞させていただき、10月26日、松江市内のホテルにおいて表彰式がおこなわれました。このような賞をいただいたこと、この場をかりて感謝申し上げます。

2000年に発表した「やくも水神」は、松江で生まれたRubyで構築、松江・東京にデータセンターを置き、スマートフォン・タブレット端末の誕生・普及・進化を追い風に、専用アプリケーションを開発し続け、全国に広がる水のIoTの先駆け「やくも水神ネットワークシステム」に成長しました。
水の問題は、世界人類共通の問題です。

コロナ禍の中、世界各地で、大規模水害・山火事など、自然災害、天変地異により人類の命が危うい時代を迎えています。「やくも水神」は、究極のソーシャルビジネスとして、水を利用する市民、水に携わる事業者、管理をする市町村担当者、そして政府の声に耳を傾け、情報を共有し「**民民公連携**」で果たすべき役割への強い決意を持って、これからも日々開発に取り組んでいきます。

先日、核兵器の保有や使用を全面的に禁止する「核兵器禁止条約（TPNW）」発効の条件となる50カ国・地域が批准し、2021年1月に条約（TPNW）が発効するというニュースがありました。

しかし、米・英・仏・中・ロなどの核兵器保有国は参加せず、唯一の被爆国である日本も、禁止条約の交渉会議には参加していません。

小松電機産業株式会社 人間自然科学研究所がある宍道湖・中海圏域は、世界でも珍しい連結汽水湖で、著書「[母なる中海](#)」でもお伝えしているように特別な汽水湖です。

アメリカ・中国・ロシア3大核大国の結節点にある朝鮮半島と日本列島の使命が問われています。今、世界規模の閉塞のなかで、「**平和・環境・健康はひとつ**」の情報発信地としての役割を果たす時がきたと言えるのではないでしょうか。



[発明協会 地方発明表彰](#)

[令和2年度中国地方発明表彰受賞者一覧](#)

中国経済産業局長 涑上善弘様 本社訪問

小松電機産業は、地域経済の中心的な担い手となりうる企業に認められ、経済産業省の「地域未来牽引企業」として選定されています。その関係もあり、発明表彰式に先立ち午前10時半より12時まで、中国経済産業局長 涑上善弘様 他2名のお客さまが本社を訪問されました。

小松社長から本社展示会場でシートシャッター「happy gate 門番」の新型機、そして今回受賞の「やくも水神」システムの紹介と、その開発理念をお聞きになりました。その後、太陽ホールで「やくも水神」を中心に、この技術開発担当者、zoomにより参加した韓国・タイ・東京・福井・京都から具体的な報告がありました。それを受け、涑上局長からの質問、業界新聞の記者さんから活発な意見交換があり、時間が足りないくらいでした。

この意見交換会に涑上長官から感想をいただき、小松社長から謝辞があり、盛会裡に終了しました。



令和 2 年度中国地方発明表彰受賞発表を受けて

小松電機産業株式会社 人間自然科学研究所
代表取締役 小松昭夫

このたびは、令和 2 年度 中国地方発明表彰を賜り、心よりお礼申し上げます。

私共は「**民民公連携**」を合言葉に、中海・宍道湖圏から、全国・世界に広がるソーシャル・ビジネスモデルを目指しています。当地で生まれた「Ruby」で構築した水のIoTの先駆け「やくも水神」の更なる普及を通じて、人工知能（AI）との二人三脚で、**真の地方創生**に弾みがつくことを、期待しています。

今回、賞をいただきました『クラウド型リアルタイム表示の発明』は、2011年3月の東北大震災発生時の計画停電処置による水処理トラブルに際して、本発明の基礎となる「やくも水神」を導入されていた東京の町田市様が水処理の難局を乗り切られた実績があり、このことから全国の自治体から非常に注目を浴びてきました。これを進化させ、「クラウド型リアルタイム表示の発明」に至りました。

現在、カメラ・あらゆるセンサーとの組み合わせ、上下水道はもとより、農業用水・道路アンダーパス・ゲート・河川・雨水貯留施設、高解像度降水ナウキャスト（気象庁配信）との組み合わせなど「やくも水神」は「水の広域総合管理システム」として全国各地で、健康管理、安全性、環境保全の社会的効果の向上に寄与し、世界平和に通じるソーシャル・ビジネスモデルとして日進月歩の進化を続けています。

民民公連携とは

民民＝①市民②水に関わるあらゆる事業者

公＝③役所④官僚⑤政治家⑥学校及び学会

連携＝あらゆる水の情報をクラウド上で一元化。集まってくるデータを国民共有の財産として活用する。災害に強く、施工管理コストは安く、**市民**にとっても水道料金が安く、携わる**民間**事業者にとっても、管理監督をする**公**にもいい**連携**を生み出す。

関連動画（9分33秒）

朝日ニュースター よみがえれニッポン対談番組
ニッポン再生・逆転の発想「世界の中の日本」



対立から共生の文化へ

長い歴史問題から生まれた国家間対立、近年では深刻な米中対立、核・スマートフォンの爆発的普及、世界を覆うコロナ禍、とめどもない通貨政策などが重なり、朝鮮半島と日本列島から究極の危機が始まりかねません。

朝鮮半島の対岸、中海・宍道湖圏域で活動してきた人間自然科学研究所は、「天の時・地の利・人の和」を得て、「対立から共生の文化へ」転換する「平和・環境・健康」「宗教・政治・経済」「感激・感動・覚醒」を深く考察、議論、活動を通じて「天命」へと繋がりました。

朝鮮半島対岸に位置する中海・宍道湖圏域は、核大国の中国・ロシア・アメリカの対立と日本・韓国・北朝鮮の対立に国内の地域間・世代間・貧富の差の拡大・国家の統治不全も重なり、社会不安が急速に拡大しています。

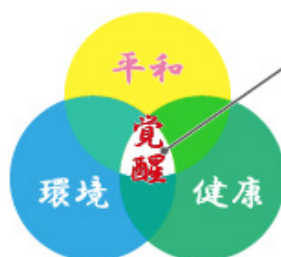
このような状況下に、島根原発三号炉の完成を控えています。
政略(原則)の上位概念の天略(原理)から、**真の地方創生**のストーリーを描くことにより、これに関わる方々の才能が次々と開花し、**真の健康寿命**を賜る流れが始まると信じています。

平和の定義＝戦争の無い状態は言うまでもなく、才能の開花を妨げる社会の文化的・構造的要因も無い状態

平和は創るものです。平和は、あたりまえのようにこの世に存在するものではありません。人間という生き物の特性を知り、その危うさを自覚するところから学ばなければなりません。

環境の定義＝社会環境（世界人的環境・国内人的環境）と、地球の歴史と、人類の長い営みから生まれる自然環境。

私達は地球をひとつの生命系として連鎖して存在しています。自然破壊、経済優先、効率主義の蔓延による危機が迫り、このままでは人類の悲劇は避けて通れないと思われまふ。「豊かさの指標を変える」新しい哲学が必要です。そしてその哲学から生まれる新しい事業こそ私達が担うべき事業です。



「永遠の命を賜る」

健康の定義＝肉体及び精神（心と脳）が時間（神）の経過と共に、次々と才能が開花する状態。人類は自然界で関係性が無いと生きていけない生命体。価値観が同じで得意領域が違う3人が語り合う状況が必要とする。三人寄れば文殊の知恵。

人は何のために生きるのか。私は「楽しく愉快に天寿を全うしたい」と考えています。そのためには自分の才能が開花して光り輝く状態であり続ける生き方を実践し続けるチカラが大切だと考えます。健康寿命を長くする秘訣はまさに自分の中に眠っている才能を呼び起こし鮮やかに開花させることにあると考えています。

編集後記

まさに素晴らしい秋晴れの日、中国経済産業局長表彰はおこなわれました。小松社長、そして開発に携わった技術者の皆さま、本当におめでとうございます。

コロナ禍の厳しい時代に明るい希望がみえた日となりました。私も「日本の縁結びから世界の縁結びへ・太陽ホール」での意見交換会を傍聴させていただく機会をいただき、開発技術者、営業担当として現場で活躍されている方々との事実に基づいた意見交換を緊張しながら拝聴していました。

どのようにして新しい技術や商品は生まれるのか。またその商品がどのように市場に支持され広まっていくのか。まさにベンチャー企業が世の中に価値を生み出す瞬間を垣間見たようでした。この新しい技術が社会になくてはならない永続的な価値を生み出し続ける、発明賞・中国経済産業局長賞だと感じました。

小松昭夫社長というベンチャーの雄に「**平和・環境・健康はひとつ**」というキーワードから次の時代を担う事業が次々と生まれる予感がします。

編集人 長谷川泰二



小松電機産業株式会社



人間自然科学研究所